

◆◆平成23年度日本家庭婦人バスケットボール連盟『理事会』開催◆◆

平成23年度日本家庭婦人バスケットボール連盟の理事会が去る5月21日(土)午後2時から
東京都文京区文京シビックセンター地下1階「アカデミー文京 学習室」にて開催されました。

総理事数52名 出席41名 委任状11名が報告され、規約第6章第19条第2項により理事会が成立し、理事会が開会されました。

理事会開催に先立ち、東日本大震災でお亡くなりになられた皆様に黙祷を捧げました。

〈理事会出席者名簿〉

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	橋本章	出席	常任理事	後藤淳子	出席
副会長	山田洋子	出席	常任理事	高岡治子	出席
理事長	白谷慶子	出席	常任理事	杉浦八重子	出席
副理事長	海老原矩子	出席	監事	白石東洋雄	欠席
副理事長・事務局長	榊原みどり	出席	監事	田中悦子	出席
				田島芳枝	欠席

* 常任理事

北海道	北海道理事	松本淳子*	出席	近畿	滋賀県理事	大塚由美子	出席	
	東北	青森県理事	加藤貴子		委任状	京都府理事	橋本雅子	出席
		岩手県理事	小山恵子		委任状	大阪府理事	佐藤静子	出席
		宮城県連盟	板橋イネ(代理出席)		委任状	兵庫県理事	三木道博*	出席
		秋田県理事	千田典夫*		出席	奈良県理事	吉岡雅子	出席
		山形県理事	羽柴節子		委任状	和歌山県理事	篝 裕里	委任状
		福島県理事	物井民子		委任状	中国	鳥取県理事	丸本千尋
関東	茨城県理事	村田紀子	出席	島根県理事	持田孝子		出席	
	栃木県理事	磯川治美	出席	岡山県理事	伊崎基女		出席	
	群馬県理事	堀込庸子	出席	広島県理事	河野淳子*		出席	
	埼玉県理事	廣田悦子*	出席	山口県理事	川本由美子		委任状	
	千葉県理事	本郷美代	出席	四国	香川県理事		佐藤ケイ子	出席
	東京都理事	小林正明	出席		徳島県理事		岡本紀久代	出席
	神奈川県理事	石田昌子	出席		愛媛県理事	山本直美	出席	
	山梨県理事	志村真弓	出席		高知県理事	市川佐知*	出席	
北信越	新潟県理事	富井 茂*	出席		九州	福岡県担当者	野津智恵美	欠席
	長野県理事	黒岩孝枝	出席	佐賀県担当者		草野啓子	欠席	
	富山県理事	高尾美津	出席	長崎県理事		小柳奈々	委任状	
	石川県理事	山村和恵	出席	熊本県理事		寺田静代*	出席	
	福井県理事	正玄千嘉子	委任状	大分県担当者		吉田 晃	欠席	
	東海	静岡県理事	富田あけみ*	出席		宮崎県理事	長山陽子	委任状
愛知県理事		久永洋子	出席	鹿児島県担当者		隈本昭朗	欠席	
三重県理事		鈴木則恵	出席	沖縄県担当者		城間 諭	欠席	
岐阜県理事		小椋衣江	出席					
理事		江村幸子	出席					
理事	橋本不二子	出席						
理事	野口加代	出席						
理事	佐橋眞理	出席						

日本家庭婦人バスケットボール連盟 平成23年・24年度役員

顧問

日高 明

顧問

手嶋 昇

顧問

加瀬 正己

顧問

大倉 敬一

顧問

阿部 克三



会長

橋本 章



副会長

山田 洋子



副会長

白谷 慶子

参与

栗田 和代

参与

渡部 嘉子



理事長

榊原 みどり



副理事長・広報委員長

海老原 矩子



副理事長

後藤 淳子

常任理事



総務委員長

杉浦 八重子



競技・審判委員長

橋本 不二子



普及委員長

高岡 治子



事務局長

野口 加代



総務委員

江村 幸子



総務委員

佐橋 眞理

北海道地区

松本 淳子

東北地区

千田 典夫

関東地区

廣田 悦子

北信越地区

富井 茂

東海地区

富田 あけみ

近畿地区

三木 道博

中国地区

河野 淳子

四国地区

市川 佐知

九州地区

寺田 静代

監事

田島 芳枝



監事

田中 悦子

事務局

〒221-0821

神奈川県富家町1-13-809

野口加代気付

日本家庭婦人バスケットボール連盟 事務局

TEL : 045-423-2668 FAX : 045-423-2668

会長挨拶



会長 橋本 章

このたびの東日本大震災に被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

わたくしたち日本家庭婦人バスケットボール連盟としてはささやかではありますが、50万円を朝日新聞厚生文化事業団を通じ、被災地に義援金として寄付させていただきました。また今年の全国大会、ゴールデン大会を「東日本大震災」被災地復興支援事業として開催することを理事会で決定いたしました。なお余震、冠水、原発関係など心配されますが、被災地が一刻も早く復旧、復興されることを祈念しております。

先日の理事会で役員改選が行われ、別表のとおり決定されました。新体制のもと、引き続き会長を務めさせていただきますが、役員一同一致協力して生涯スポーツとしてのママさんバスケットボールの普及発展を図ってまいります。

今年の全国大会は、第30回の節目の大会であると同時に韓国から4年ぶりに来日し、親善試合を行います。ねんりんピックに協賛してのゴールデンシニア大会は年々充実の度を加え、今年から60歳以上の部を「ブラチナの部」として独立させました。往時を知る方々には今昔の感一人の感慨を持たれるでしょう。両大会開催地の大阪、熊本の関係者の方々にはいろいろお世話になりますが、よろしく願います。

各ブロック大会の支援、協力をはじめ、それぞれの地域で元気なママさんたちがプレーを楽しめるよう工夫をこらし、努力してまいりますので、今年度も倍旧のご支援、ご協力をお願いして、ごあいさついたします。

副会長挨拶



副会長 山田 洋子

皆様こんにちは。

今年は、ママさんバスケット全国大会が30回を迎え、大阪で開催されます。第1回から参加した方々始め、年々多くの方々の参加を得て、今では(財)日本バスケットボール協会に5,300人を超える方が登録され、全国大会・ゴールデンシニア大会を目標に楽しみ競い合うようになりました。これもひとえに、会員の皆様のバスケットボールに対する熱い思いとご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

連盟設立から15年目を迎え、白谷理事長から榊原新理事長にバトンタッチ、新しいメンバー構成でスタートいたしました。会員の皆様には、今までもましてご支援ご協力を賜りますようよろしく願ひ申し上げます。

先の東日本大震災で起きたことはあまりにもごく言葉がありませんが、その全てを心に刻み、子供達、孫達が、幸せに暮らしていけるような日本になるよう願ひ、ほんの少しでも自分にできることを心がけたいと思います。

ママさんバスケットボールで笑顔を…仲間と笑顔を…皆で頑張らしましょう。



副会長 白谷 慶子

最初に、この度の東日本大震災、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を、お祈りいたします。

私は、今年度役員改選に伴い、理事長を退任し、副会長に就任させていただきました。理事長として3期6年、連盟の皆様を始めとして、多くの関係者の皆様に支えられ、無事勤めさせていただきました。そして、多くの皆様との出会い、又、いろいろな経験もさせていただき、全てにおいて私にとっては、素晴らしい財産となっております。

初代理事長、山田洋子さん(現副会長)の思いを引き継ぎ、全国組織の確立を目標に、連盟運営を進めてまいりましたが、お陰様で、42の都道府県に連盟が設立されました。後、九州5県(福岡、佐賀、大分、鹿児島、沖縄)を残すのみとなり、福岡県におきましては、24年4月に連盟設立予定と聞いております。

今後は、榊原新理事長を中心に、新体制の中、一日も早い、全国組織の確立と、多くの皆様にもっともっとバスケットボールを、楽しんでいただけるような連盟運営を、進めていただければと思います。私も、立場は代わりますが、連盟運営に携わらせていただき、微力ではありますが、ママさんバスケットボールの普及、発展に努めてまいりたいと思っております。どうぞこれからも、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

理事長挨拶



理事長 榊原 みどり

皆様お元気でしょうか。

本年度の役員改選で3期6年間理事長をつとめられた白谷理事長が退任し副会長に就任され、私が新理事長として就任いたしました。その他の役員も一新いたしました。微力ではございますが、皆様のご支援をいただきながら精一杯努めて参りたいと思っております。どうぞよろしく願ひいたします。

今年度も大阪にて全国ママさん大会が開催され同時に日韓親善大会も4年ぶりに韓国チームが来日され開催となります。また、熊本で開催されますねんりんピック協賛のゴールデンシニア大会では、ブラチナの部(60歳以上)が独立したブロックとなりました。連盟の目的となる、生涯スポーツとしてバスケットボールを楽しみ続けていくという目的に、一般の部・シニアの部(43歳以上)・ゴールデンシニアの部(50歳以上)ブラチナの部と、一歩つづですが近づいてきていると思っております。これも、皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝いたします。

今後も、全国のママさんバスケットボールを愛する皆様楽しんでプレーをし、交流を深める場を提供できますよう新役員一同、よりいっそうの努力をして参りたいと思っております。

最後になりましたが、今年3月東日本を襲いました大震災で被災されました皆様にお見舞いを申し上げますと共に、復興に向け、長期にわたり支援していく事が出来ますようにと思っております。

平成22年度事業報告

1・全国大会

第29回全国ママさんバスケットボール交歓大会

期日：平成22年7月23日(金)・24日(土)・25日(日) 場所：北海道北見市 北海道立北見体育センター・他8会場

第9回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会(ねんりんピック協賛イベント)

期日：平成22年10月9日(土)・10日(日) 場所：石川県七尾市 七尾総合市民体育館・石川県立七尾高等学校

2・国際交流大会

日韓ママさんバスケットボール親善大会

期日：平成22年5月21日(金)・22日(土)・23日(日) 場所：韓国 ソウル市 参加チーム：岡山県代表チーム

3・ブロック大会の支援・協力

<p>第16回(山口杯) 北海道家庭婦人バスケットボール連盟 結成記念大会 日時:平成22年10月2日(土)・3日(日) 場所:北海道雨竜郡 妹背牛町総合体育館 参加チーム:計16チーム (一般14チーム・シニア2チーム)</p>	<p>参加チームが少ないのが残念ではありましたが、7月の全国大会出場チーム同士の熱い戦いも見られ、また僅差の試合も多く大いに盛り上がった大会となりました。一般のCブロックでは全国シニア準優勝のFRESH、また最近若手に主力が移りつつあるオリーブ、そしていまや全国屈指の強豪となった山の手高校OGが主体のアカシヤOGの3チーム総当たりとなり、接戦が繰り広げられましたが、後輩の活躍に負けまいと要所で踏ん張ったアカシヤOGが2勝し、そのまま総合優勝(総得点で決定)を勝ち取りました。また、2チームのみの参加でしたが、交流試合としてシニアの試合も設定し、こちらは和気藹藹、地元の協会の方々に微笑ましく見守られながら怪我無く(これが一番)タイムアップとなりました。1日目の夜は恒例の大宴会(橋本会長がよくご存知です…)を近郊の温泉旅館で開催し、幹事チームの仕切りによるチーム対抗ゲームあり、有志によるパフォーマンスありで、翌日に試合があることも忘れるほどの熱気でした。山口杯の目的は「普及と交流」ですが、その目的が見事に果たされた16回大会でした。(長尾 登志子)</p>
<p>第12回 東北ママさんバスケットボール交歓大会 日時:平成22年10月2日(土)・3日(日) 場所:岩手県 花巻市 花巻市総合体育館 参加チーム:計19チーム (一般の部:青森2宮城1岩手6山形2秋田2福島0) (シニアの部:青森2岩手2秋田1福島1)</p>	<p>東北各県持ち回りとなって4年目の第12回大会は、宮沢賢治の生誕の地・イーハトーブ花巻で、新しく大きな花巻市総合体育館内の4コートを使って行い、2日間に渡って熱戦が繰り広げられました。一般の部は、8月の全国大会で準優勝したMBC(青森)が、準決勝で鹿花ク(秋田)を、決勝で田沢湖ク(秋田)を若さと余裕で下し、念願の初優勝を遂げました。シニアの部は、準決勝で福島レディースシニアを下した能代レディースと、同じく準決勝で同県のMBCシニア(青森)を1点差で破ったアッパーズ(青森)の対戦となり、能代レディースが競り勝ち、こちらも嬉しい初優勝を飾りました。日家連から橋本会長が、開会式や大会初日夕方の東北ママさん連盟の理事・チーム代表者合同会議に出席してくださり、地方の声に耳を傾けてくれました。懇親会(花巻温泉「紅葉館」)には殆どの選手と岩手県・花巻市協会役員が参加して、登録チームの減少や高齢化という東北ブロックの喫緊の課題を吹き飛ばすかのように、大いに盛り上がりました。また大会開催と運営にご尽力いただいた岩手県ママさん連盟、岩手県協会、花巻市協会、それに走り回ってくれた小山恵子さん、工藤恵子さん、高橋奈津子さん、本当にありがとうございました。3月11日の東日本大震災に遭ったたくさんの選手・ご家族がありますが、平成23年度からbjリーグに岩手県からも参加しますので、“雨にもマケズ、風にもマケズ”頑張って東北ママさん連盟を盛り上げていきたいと思っています。(東北ママさんバスケットボール連盟会長・東北ブロック常任理事 千田典夫)</p>
<p>第16回 関東ママさんバスケットボール交歓大会 日時:平成22年11月27日(土)・28日(日) 場所:東京都 武蔵野総合体育館 参加チーム:計24チーム (一般の部:茨城3栃木3群馬3埼玉3千葉3東京3神奈川3山梨3)</p>	<p>関東家庭婦人連盟では毎年会長、理事長が交代します。今年度は栃木県家庭婦人連盟の磯川理事長が関東家庭婦人連盟の理事長です。以前は会長も理事長も2年毎に代わっていました。関東家庭婦人連盟の会長に就任すると、先ず自分の県で関東ママさん大会を開催し、翌年は他県での開催に関東家庭婦人連盟会長として出席します。その年の開催県会長は関東家庭婦人連盟副会長ということになり、会長のモチベーションも下がるし、開催県のスタッフもやりにくいという事で、任期が一年ということになりました。何故2年毎だったか申しますと、関東家庭婦人連盟は関東バスケットボール協会の傘下にあるため、関東協会の役員任期の2年に合わせていました。クラブ連盟やミニバスケットボール連盟などの他のカテゴリーでは再任されるケースも多いようですが、家庭婦人では再任するということがなく、2年毎に交代していました。</p> <p>関東家庭婦人連盟の理事長の任期は4月から翌年の3月なのですが、実際の仕事はその年の2月に行われる関東協会の合同会議に出席し、次年度に行われる関東ママさん大会の要項を関東協会でも承認してもらうことから始まり、秋に開催される関東ママさん大会(報告書等の残務)が終了までとなります。</p> <p>関東協会の会議へ毎年違った者が出席するので、関東協会事務局からは「申し送りをしっかりしてください。」と言われていました。そのため、解らないことの確認や情報のやりとりをするためEメールや電話で連絡をとりあっています。また、関東では関東ママさん大会のほかに各県で開催する交歓大会に他県を招いて交流を図っています。そんなときも情報交換をしています。(関東家庭婦人バスケットボール連盟平成22年度理事長 小林正明)</p>

<p>第12回北信越 家庭婦人バスケットボール交歓大会 日時:平成22年8月21日(土)・22日(日) 場所:新潟県 柏崎市 柏崎市総合体育館 参加チーム:計20チーム (長野8新潟7富山2石川2福井1)</p>	<p>8月21日(土)22日(日)に第12回北信越家庭婦人バスケットボール交歓大会が新潟県 柏崎市「柏崎市総合体育館」で開催された。新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県の20チームが参加し、3ブロックに分けて、交歓大会を開催した。今年は例年になく猛暑が続き、熱中症が心配されたが、けがや病気になる選手がいなく大会を終了することができた。ママさんも一度(ひとたび)コートに立てば、若かりし頃を思い出し、思い通りに動かない体と格闘しながらハッスルプレーを展開していた。200人の大懇親会では、互いにビールを酌み交わし、和やかなうちにゲーム以上の頑張りが見られ、楽しい時間を過ごすことができた。</p> <p>代表者会議では、全国理事会の報告が行われ、全国大会参加費の増額や登録料の導入など、理解してもらうことができた。また、各県ともチーム数や登録チームの増加を図るように共通理解した。23年度開催は、8月20日(土)21日(日) 富山県砺波市「富山県西部体育センター」で行われることが決定した。(北信越ブロック常任理事 富井 茂)</p>
<p>第8回 東海ママさんバスケットボール交歓大会 日時:平成22年11月28日(日) 会場:岐阜県 多治見市 多治見市総合体育館 参加チーム数:計12チーム (一般の部:愛知2静岡2岐阜2三重2) (シニアの部:愛知1静岡1岐阜1三重1)</p>	<p>年2回の理事長会議を開催することで各県の現状が伝わり東海大会に向け状況に応じて出場ルールなどを若干変更しながら大会を開催し四県が以前にもまして、まとまる様になり運営は勿論のこと試合進行もスムーズになりました。本年度は岐阜県が開催地で理事長の小椋さんが初めての経験でしたが、理事長を支える周りの理事・選手の皆さんがとても生き生きと大会を盛り上げていたのが強く感じました。</p> <p>チーム数を増やすと言うことで、各県の理事長を中心として、皆さん努力をしていますが現在登録をしているチームは年々、年が加算でシニアチームは増えていきますが一般の若いチームが子供のミニバスとか他のスポーツにお母さん方が借り出されチームの存続が危ぶまれると言う危機に絶たされているのも現状です。新チームの勧誘をしても【子供がとか親がとか】でこの足を踏んでなかなか登録までこぎ着ける事が出来ません。県内大会・東海大会などはローカルルールで開催する事も出来ますが、全国大会には8名と言う壁があり優勝をして全国出場は嬉しいが、いざ蓋を開けてみると8人確保にキャプテンが並ならぬ努力をしている事も事実です。(東海ブロック常任理事 富田あけみ)</p>
<p>第11回 近畿女性バスケットボール交歓大会 日程:平成22年8月28日(土)、29日(日) 会場:京都府 京都市 京都市体育館(西京極体育館) 参加チーム:計22チーム (一般の部:兵庫2大阪2京都2奈良2和歌山2滋賀2) (シニアの部:兵庫1大阪1京都2奈良1滋賀1) (ゴールデンの部:兵庫1大阪1京都1滋賀1)</p>	<p>一昨年度は、近畿女性バスケット連盟が10周年を迎え、滋賀県において10周年記念大会として第10回近畿女性バスケットボール交歓大会を終えました。続いて2010年2月14日(日)には京都女性バスケットボール連盟が10周年を迎え、京都女性バスケットボール連盟設立10周年記念祝賀会を開催いたしました。日本家庭婦人バスケットボール連盟会長の橋本 章様をはじめ、多数の来賓の皆様に参加をいただき盛大に開催することが出来ました。これまでご支援をいただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。</p> <p>そして、2010年8月28・29日には、その京都で第11回近畿女性バスケットボール交歓大会を京都市体育館に於いて開催することが出来ました。『近畿はひとつ』を合い言葉に皆様方の協力を得て無事成功することが出来ました。日本家庭婦人バスケットボール連盟からは、山田洋子副会長に参加頂き、激励のお言葉を頂戴いたしました。結果は、1位推薦一般の部では、大阪の大黒天と京都のMarchin'sが決勝戦で熱戦を繰り広げ目が離せない展開でしたが、僅差で大黒天が優勝しました。2位推薦一般の部では、大阪のARASHIが優勝、2位は京都のBB醍醐でした。シニアの部では、京都のLOVELY京都が圧勝し優勝、2位に同じく京都のMARSが入りました。ゴールデンシニアの部では、京都のゴールデン京都がはじめて優勝を獲得しました。どの試合も白熱した展開で観客の皆さんも一緒に熱のこもった応援をしていただきました。</p> <p>最後に京都女性バスケット連盟が一致団結して加盟チーム全員でこの近畿大会に取り組めたことは、京都の絆を深め今後益々発展していけると感じ大変うれしく思いました。(京都女性バスケットボール連盟理事長 橋本雅子)</p>
<p>第10回中国地区 ママさんバスケットボール交歓大会 日時:平成22年10月3日(月) 場所:鳥取県 鳥取市 鳥取県民体育館 参加チーム:計19チーム (広島5岡山5鳥取5島根4)</p>	<p>第10回中国地区ママさんバスケットボール交歓大会が去る平成22年10月2日(日)鳥取県民体育館(コカコーラウエストパーク)において開催されました。当日は、あいにく雨交じりの強風が吹く天候の中、4県より19チームが参加。運動会シーズンのため、山口県からは不出場でしたが、今回、島根県隠岐の島から、海を渡っての初参加チームもあり、4ブロックに分けて熱戦を繰り広げ、一年ぶりの再会旧交を温めました。</p> <p>回を重ねる毎に地方大会の楽しみや必要性も感じられ、バスケットをし、観光を楽しみにこの大会を待つチームも多くなってきています。中国ブロックは、例年一日開催ですが、今後2日間にして、ゆっくり各県チームとの交流もあれば試合数も増え、全国大会まで行かなくても情報交換もより可能で、楽しみも多くなるのではと思います。</p> <p>又、今回大会では、鳥取ママさん連盟からの、各県各チーム宛てへの通知が全てメールで処理され、事務手続きを簡素化、鳥取ママさん連盟としてもかなり手間が省けたようです。中国ブロック大会では初めての事で、次回に向け参考になった大会でした。(中国ブロック常任理事 河野淳子)</p>

第9回四国

家庭婦人バスケットボール交流大会

日時:平成22年8月28日(土)・29日(日)

場所:徳島県 北島町 北島町北公園総合体育館

参加チーム:計15チーム

(徳島4高知4香川3愛媛4)

四国家庭婦人交流大会が、平成22年8月28・29日の2日間、徳島県北島町北公園総合体育館で開催されました。四国各県より、11チームの参加で今年も熱い戦いとなりました。決勝戦は、4年連続RETURNS(徳島)と新居浜クラブ(愛媛)の組合せとなりましたが、新居浜クラブが、2回目の優勝を飾り2チームにとっては、2勝2敗の五分の勝率となりました。次回大会では、新たなチームがこの2チームと対戦するようになるのか、又5度目の対戦となるのか楽しみなどところです。1日目の夜は、毎年恒例の懇親会でママさんパワー爆発・爆笑…締め括りは、全員参加の「阿波踊り」で余韻を残しつつ幕となりました。

四国連盟では、23年度第10回大会記念行事として、四国では初めて「ゴールデン」の試合を企画しております。四国交流大会の試合の合間に参加できる方には参加していただき、観戦の皆様には「ゴールデン」の皆様のパワーを感じていただき、これからも四国のママさんが丸となり「家庭婦人バスケットボール」を盛り上げていっていただけるような企画になればと役員一同思っております。日家連の皆様には、例年のブロック大会以上に参加等ご迷惑をお掛けいたしますが、ご協力よろしくお願ひします。(四国ブロック常任理事 山本直美)

第6回九州地区

ママさんバスケットボール交歓大会

日時:平成22年8月28日(土)・29日(日)

場所:福岡県 宗像市 宗像市民体育館・

東海大学付属第五高等学校体育館

参加チーム:計16チーム

(福岡5大分1佐賀2宮崎1長崎3鹿児島1熊本3)

九州地区ブロックの活動は九州地区家庭婦人バスケットボール交歓大会のみで、定期的に各県の理事が集まって年間行事などの情報交換をするまでの組織がまだできていない状態です。九州地区ブロックの唯一の情報交換の場である、九州地区家庭婦人バスケットボール交歓大会は毎年1回の楽しみのひとつでもあります。22年度の九州地区家庭婦人バスケットボール交歓大会は福岡県宗像市で開催され、過去最高の16チームが参加しました。大変暑い中での開催でしたが、大きな怪我もなく楽しくプレーできたようです。

昨年の大会からこの大会の開催準備、事務処理などのデータをUSBを使用し、開催県の理事が責任を持って保管をし、次の開催県の理事に渡すシステムを作りました。そのシステムのお陰で大会の引き継ぎがスムーズにいき、昨年の反省を基に次の開催に向けて改善できるようになりました。

鹿児島県が22年度より大会に参加されました。鹿児島県は理事ではなく準理事の県です。再来年度は鹿児島県開催をお願いしています。また、今回開催県であった福岡県も準理事の県でしたが、開催を機に連盟を発足し、理事をつくる方向に進んでいます。このように、九州地区ブロックの今後の課題として、理事の県が3県と非常に少なく、活動自体できる状況ではありません。各県に準理事ではなく理事を存在させることが急務だと思います。その為には理事のいない県での開催を利用し、理事が存在できる組織作りを促していく事が九州地区ブロックの発展になっていくのではないかと考えています。(九州ブロック常任理事 長山陽子)

4. 普及事業

ホームページの管理及び日本連盟パンフレット(2010年度版)の作成

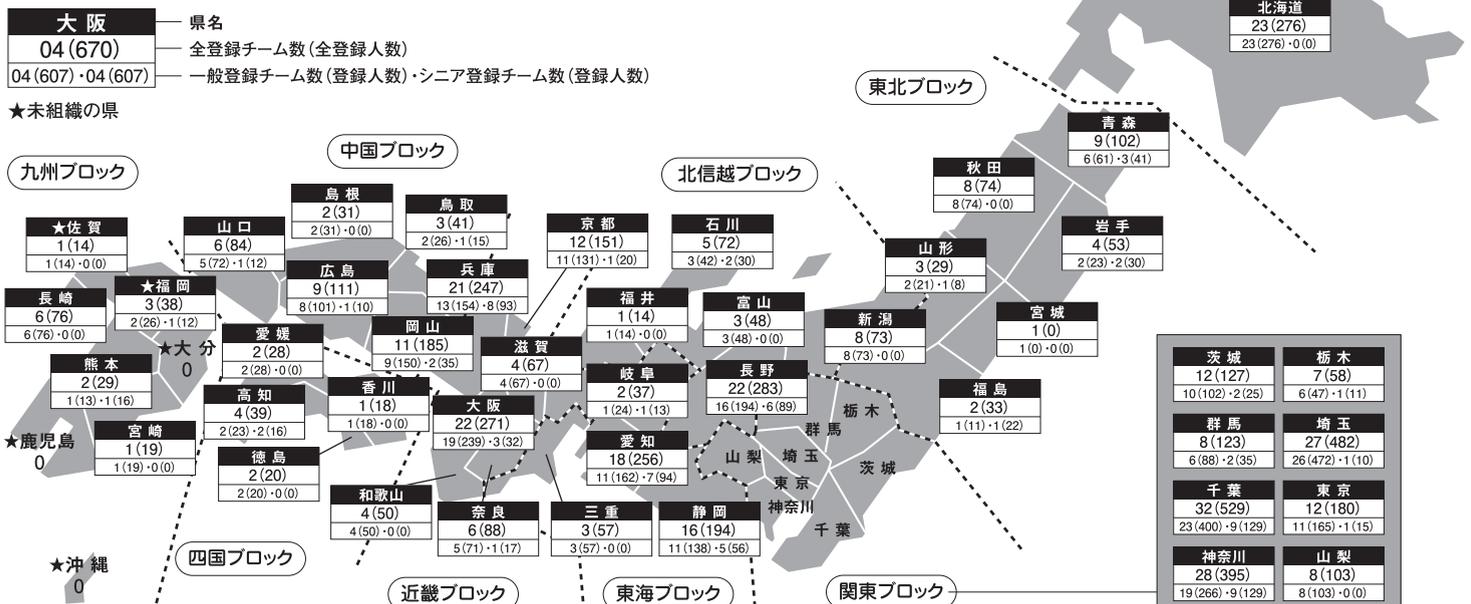
平成23年度 日本家庭婦人バスケットボール連盟「加盟登録状況」

2011.6.1現在

登録チーム数:384チーム(一般:309チーム シニア:75チーム)

登録人数:5,205名(一般:4,190名 シニア:1,015名)

登録都道府県数:44都道府県(一般:44 シニア:27)



平成23年度 こんな事業を行います!

全国大会

第30回全国ママさんバスケットボール交歓大会

期日:平成23年7月22日(金)・23日(土)・24日(日)

場所:大阪府 大阪市中央体育館・舞洲アリーナ

第10回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会(ねんりんピック協賛イベント)

期日:平成23年10月15日(土)・16日(日)

場所:熊本県 熊本市立天明運動施設体育館・熊本市南部総合スポーツセンター

国際交流大会

日韓ママさんバスケットボール親善大会

期日:平成23年7月22日(金)・23日(土)

場所:大阪府 大阪市中央体育館

ブロック大会支援・協力

第17回(山口杯)北海道家庭婦人バスケットボール連盟結成記念大会

期日:平成23年10月1日(土)・2日(日) 場所:北海道 旭川市 旭川市立総合体育館

第13回東北ママさんバスケットボール交歓大会

期日:平成23年9月10日(土)・11日(日) 場所:山形県 山市 山市体育館

第17回関東ママさんバスケットボール交歓大会(中止)

第13回北信越ママさんバスケットボール交歓大会

期日:平成23年8月20日(土)・21日(日) 場所:富山県 砺波市 県西部体育センター

第9回東海ママさんバスケットボール交歓大会

期日:平成23年9月11日(日) 場所:愛知県 豊田市 スカイホール豊田

第12回近畿女性バスケットボール交歓大会

期日:平成23年8月20日(土)・21日(日) 場所:奈良県 天理市 天理大学袖之内体育館・天理高校体育館

第11回中国地区ママさんバスケットボール交歓大会

期日:平成23年10月16日(土) 場所:島根県 松江市

第10回四国家庭婦人バスケットボール交流大会

期日:平成23年8月20日(土)・21日(日) 場所:香川県 高松市 香川県総合体育館

第7回九州地区ママさんバスケットボール交歓大会

期日:平成23年8月27日(土)・28日(日) 場所:佐賀県 鳥栖市 鳥栖市民体育館

理事・準理事紹介(*ブロック常任理事)

都道府県理事氏名・担当者氏名と平成23年度都道府県別事業計画

※写真の理事は、理事会に参加された方です。

北海道ブロック

北海道理事 松本 淳子*



第29回全道交歓大会
兼 全国大会予選会
第15回ライラックカップ
第17回「山口杯」北海道
連盟結成記念大会
通算第44回
札幌交歓大会 兼 第5回
審判・TO講習会

東北ブロック

青森県理事 加藤 貴子

全国大会予選会 県交流大会 県オープン大会

岩手県理事 小山 恵子

第23回県交歓大会 兼 全国大会予選会
第14回交流大会

宮城県理事 一方井 真理

県春季交歓大会
県秋季交歓大会

山形県理事 羽柴 節子

県交歓大会
第13回東北地区大会(予定)

秋田県理事 千田 典夫*



第22回
県交歓大会

福島県理事 物井 民子

第64回県総合体育大会 家庭婦人の部

関東ブロック

茨城県理事 村田 紀子



県春季大会
県秋季大会
県レディース審判講習会

千葉県理事 本郷 美代



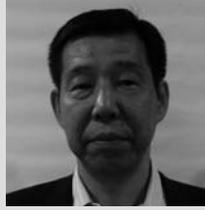
全国大会予選会
審判講習会
第22回夏季交歓大会
兼 審判審査会
審判講習会
第24回秋季交歓大会
兼 審判審査会
第5回ゴールデンシニア大会

栃木県理事 磯川 治美



全国・関東大会予選会
(中止)
第7回藤本杯近県大会
兼 第29回県交歓大会
第30回県交歓大会
第17回関東地区大会
(中止)

東京都理事 小林 正明



第22回ママさん大会 兼
全国大会予選会
第1回交歓大会
第2回交歓大会
第3回交歓大会

群馬県理事 堀込 庸子



県選手権大会 兼 全国・
関東大会予選会 (延期)
第15回近県交歓大会
県交歓大会

神奈川県理事 石田 昌子



第20回交歓大会 兼
全国・関東大会予選会
TO講習会 審判講習会
第10回県夏季交歓大会
審判講習会
第15回県秋季交歓大会
審判講習会
第14回県冬季交歓大会
審判講習会

埼玉県理事 廣田 悦子*



第1回審判講習会
第3回ゴールデンシニア
埼玉大会
第34回県交歓大会
県総体・第34回
県選手権大会
審判講習会

山梨県理事 志村 真弓



審判講習会
全国大会 兼
関東大会予選会
くつま整形外科スポーツ
クリニック
第9回県交歓大会
第19回県交歓大会

北信越ブロック

新潟県理事 富井 茂*



第25回県交歓大会

長野県理事 黒岩 孝枝



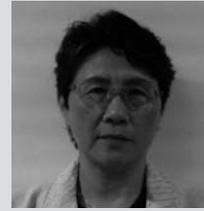
第30回県交歓大会 兼
全国大会予選会
第20回県アルプスカップ
第30回県親睦大会
第20回県かりん杯
第25回県交歓大会

富山県理事 高尾 美津



第17回県家庭婦人大会
第13回北信越地区大会

石川県理事 山村 和恵



全国大会予選会
第4回県交歓大会
秋季交流会

福井県理事 正玄 千嘉子

第13回FUKUIレディース交歓大会
合同練習会

東海ブロック

静岡県理事 富田 あけみ*



県選手権大会 兼
全国大会予選会
第3回連盟会長杯
第17回県交歓大会

三重県理事 鈴木 則恵



審判講習会
県交歓大会

愛知県理事 久永 洋子



第23回夏季大会
第9回東海地区大会
第7回県シニア大会・
第4回審判/TO講習会
第23回県冬季大会

岐阜県理事 小椋 衣江



第1回県内外交歓会
第2回県内外交歓会
第3回県内外交歓会



福岡県担当者 野津 智恵美

あじさいカップ(全国大会県予選)
第12回宗像交歓大会

宮崎県理事 長山 陽子

県交歓大会
県交歓大会
県交歓大会

近畿ブロック

滋賀県理事 大塚 由美子



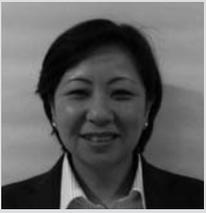
第21回県交歓大会 兼
全国大会・近畿大会予選
第7回Lake Ladies'
大会

兵庫県理事 三木 道博*



第5回県交流会
第32回県優勝大会
第7回県シニア優勝大会
レフリー&オフィシャル
クリニック
第14回フレンドリーカップ
大会

京都府理事 橋本 雅子



第12回府春季大会
府交流大会
第12回KLBBL CUP
シニア大会・審判講習会

奈良県理事 吉岡 雅子



春季交歓大会 兼 近畿
大会・全国大会県予選
審判講習会
第12回近畿地区大会
秋季交歓大会

大阪府理事 佐藤 静子



全国大会予選会
審判TO講習会
第30回全国交歓記念大会
・2011年日韓親善大会
第4回シニア大会
第19回連盟会長杯
平成23年度大阪協会
カーニバル

和歌山県理事 筈 裕里

全国大会・近畿女性交歓大会予選会・TO講習会
近畿交流大会

四国ブロック

香川県理事 佐藤 ケイ子



県交歓大会
第10回四国地区大会
県交歓大会

徳島県理事 岡本 紀久代



未定

愛媛県理事 山本 直美



第7回県交流大会

高知県理事 市川 佐知*



県交流大会
2012年全国大会予選会

中国ブロック

鳥取県理事 丸本 千尋

第4回県交歓大会
第5回県交歓大会

山口県理事 川本 由美子

第41回いきいきフェスティバル
全国大会予選会 兼 第42回県交歓大会

島根県理事 持田 孝子



第6回ウィメンズ交歓大会
兼 第3回山陰交歓大会
第11回中国地区大会
第16回松江市交歓大会

岡山県理事 伊崎 基女



全国大会予選会
第8回OHK杯県優勝大会
宮部弘之カップ争奪
第7回県秋季大会
エヴァモアカップ
2011年度リーグ

広島県理事 河野 淳子*



第15回県交歓大会
第16回県交歓大会

九州ブロック

熊本県理事 寺田 静代*



県交歓大会・全国大会
予選

佐賀県担当者 草野 啓子

第7回九州地区大会

大分県担当者 吉田 晃

鹿児島県担当者 隈本 昭朗

長崎県理事 小柳 奈々

全国大会予選会
第4回県秋季大会
第3回県チャレンジ大会

沖縄県担当者 城間 諭

ルール説明会



講師：(財)日本バスケットボール協会
審判委員会 中嶽希美子氏

理事会開催の前に国際ルール改正に伴い国内の公式戦で適用されることになった改正部分を中嶽希美子氏を講師に説明をして頂きました。第30回全国ママさん交歓記念大会より適用となりました。



新ルール説明会 資料 「2011～バスケットボール競技規則」変更点について

1、コートの変更

- ①制限区域の変更(競技規則第2条 2.4.3)
- ②スリー・ポイント・ラインの変更(競技規則第2条 2.4.4)
- ③スロー・イン・ラインの新設(競技規則第2条 2.4.6)
- ④ノー・チャージ・セミサークルの新設(競技規則第2条 2.4.7)

2、ユニフォーム

- ①ユニフォームの下に着用するもの(競技規則第4条 4.3.1)

3、8秒・24秒ルールに関する変更

- ①スロー・インの時の8秒、24秒の計り始め
(競技規則第28条 28.1.1 第29条 29.1.1)
- ②フロントコートに進められる条件(競技規則第28条 28.1.2)
- ③フロントコートでの24秒計の継続とリセット
(競技規則第29条 29.2.1.2)

これまでフロントコートで24秒計がリセットされてスロー・インが行われる場合
24秒計の残り時間が

- ・14秒以上であった場合 → 継続される。
- ・14秒以下であった場合 → 14秒にリセットされる。

4、ファウルに関する変更または追加

- ①ノー・チャージ・セミサークル・エリア(競技規則第33条 33.10)
ボールをコントロールしてバスケットに向けてドライブした攻撃側プレイヤーが正当な防御の位置を占めた防御側プレイヤーのトルソー(胴体)に突き当たったとしても、その触れ合いが起こったときにその防御側プレイヤーがノー・チャージ・セミサークル・エリア内にいれば攻撃側プレイヤーにチャージング・ファウルが宣せられることはない。
- ②アンスポーツマンライク・ファウル(競技規則解説31)
- ③ひじを激しく振りまわす(競技規則第38条 3.1)

5、ヴァイオレーションとゲームの再開方法の変更

- ①ボールがライブになる時機(競技規則第8条 8.6 第10条 10.2)
- ②タイム・アウト終わりの管理(競技規則解説 15(3))
- ③スロー・インの場所(競技規則第17条 17.2.4)

第4ピリオド、各延長時間の最後の2分間にタイム・アウトが認められ、タイム・アウトが認められたチームのバック・コートのアウト・オブ・バウンズから、そのチーム(タイム・アウトが認められたチーム)にスロー・インが与えられてゲームが再開される場合は、スロー・インはそのチームのスロー・イン・ラインのアウト・オブ・バウンズから行う

「被災者の皆様の一日も早い復興をお祈りします。」

東日本大震災に日本家庭婦人バスケットボール連盟として義援金(50万円)をしました。平成23年5月10日に橋本章会長、白谷慶子理事長が朝日新聞本社を訪問し、義援金を朝日新聞厚生文化事業団 谷啓之様にお渡ししました。



第31回 全国ママさんバスケットボール交歓大会

期日：平成24年8月3日(金)・4日(土)・5日(日)
場所：高知県 高知市 春野総合運動公園体育館・
高知県立県民体育館・高知県立青少年センター

第11回 全国ゴールデンシニア大会 (ねんりんピック協賛イベント)

期日：平成24年10月 予定
場所：宮城県

お問い合わせ先とTEL・FAX

総務委員長：杉浦八重子 →
競技・審判委員長：橋本不二子 →
普及委員長：高岡 治子 →
広報委員長：海老原矩子 →
事務局長：野口 加代 →

【事務局】住所：

ホームページアドレスです。アクセスしてネ!

<http://lady.jabba-net.com/>

発行：日本家庭婦人バスケットボール連盟 代表者 橋本章
編集：日本家庭婦人バスケットボール連盟 広報委員会

ガ・ママさんバスケット

第23号)発行日:2011年8月